

福島県いわき市「いわき市水産物地域ブランド化推進委員会」に支援金を助成

第2ステージ



いわき市内の漁業協同組合、水産加工業協同組合、水産流通団体、商工会議所、一般社団法人いわき観光まちづくりビューローが一体となって取り組む「いわき市水産物地域ブランド化推進委員会」の応援のため、日本財団の協力のもと、支援金を助成しました。

2015年9月28日

水産業

キリンビールマーケティング株式会社（社長 布施孝之）は、いわき市内の漁業協同組合、水産加工業協同組合、水産流通団体、商工会議所、一般社団法人いわき観光まちづくりビューローが一体となって取り組む「いわき市水産物地域ブランド化推進委員会」（委員長 矢吹正一）への支援金として、総額 1,500 万円を公益財団法人 日本財団（会長 笹川陽平）の協力のもと 9 月 28 日（月）に助成しました。

いわき市においては、原発事故による風評払拭を図るため、農林水産・観光業が連携しながら、行政のみならず、生産者、関係機関・団体が一体となって「いわき見える化プロジェクト」を展開しており、農林水産物の放射性物質の検査結果の公表やいわき産農林水産物のおいしさなどの魅力を発信しています。また、その一環である「平成 27 年度いわき産水産物風評被害対策事業」では、いわき産水産物地域ブランド『常磐もの』を確立し、認知度を高めながら、幅広く、正しい情報を複合的なメディアを活用して発信することで、いわき産水産物の信頼を回復し、販路や消費の回復・拡大を図っています。

今回の助成は、「いわき見える化プロジェクト」や「いわき産水産物風評被害対策事業」の取組みをさらに加速させ、いわき産水産物地域ブランド『常磐もの』の魅力を発信していくことで、風評を払拭し、適正な価格で流通及び消費拡大を図ることを目的とする「地域ブランド『常磐もの』による風評払拭プロジェクト」に対して行われるもので、いわき市や首都圏におけるブランディング活動・情報発信・販促活動等に活用されます。

